

青果物流通実態調査（産地のパレット導入および卸売市場の流通）項目

1. 卸売業者

(ア) パレット・物流関係

① 取扱数量等

- 1日当たりの平均取扱数量
- 1日当たりの平均搬入台数（〇tトラック〇台 など）
- 繁忙期における1日当たりの取扱数量
- 繁忙期における1日当たりの搬入台数（〇tトラック〇台 など）
- 荷降ろしが可能な時間帯
- 荷降ろしが混雑する時間帯

② トラックの待機スペースの現状把握と課題

- 市場内における待機スペースはどの程度確保しているか。（〇tトラック〇台分 など）
- 待機スペースを確保するためのこれまでの取組内容。
- 待機スペースを確保に向けた課題

③ 待機問題の解決に向けた取組及び課題

- 平均待機時間
- 最長待機時間
- 待機問題が生じないようにトラックをコントロールしようという意識は持っているか
- 待機問題の解決に向けたこれまでの取組内容。
- 待機問題を解決に向けた課題。

④ 荷降ろしの現状把握と課題

- 荷降ろし場所の構造等（晴天時及び雨天時別）
- 荷降ろし場所の箇所数（〇箇所、品目別 など）
- パレット積み割合（10t車以上のトラック単位の積載荷姿（木製パレット、プラスチックパレットおよびバラ）を確認（1開市日の2時間程度）し、全量パレット=1、混載=0.5、ばら=0として集計し、簡易なパレット化率を推計）【農林水産省職員が実施】
- ばら積み及びパレット積みの荷降ろし作業時間（10tトラック換算）。
- 荷降ろしに必要な機材の確保状況。（〇〇フォークリフト〇台 など）
- 荷受作業のルール整備状況。
- 荷降ろし作業は誰が行うのか。（トラック運転手、卸売業者職員、委託など）
- 荷降ろしをトラック運転手以外で行う場合の人員確保状況。
- 荷降ろしする際の課題。

⑤ 場内のパレットの現状と課題

- パレットの管理に対する意識はどのように持っているか
- パレット管理の主導権は誰が持っているか（卸売業者、仲卸業者、誰もいない など）
- 産地から荷物を運ぶために市場内に搬入されたパレット（以下「産地パ

レット」という。)の管理(仲卸業者等への引き渡し後を含む)を行っているか。

- 管理している場合の管理部署及び保管場所の有無。
- 管理されていない場合は、どのような扱いをしているのか。
- 廃棄パレット置き場の有無。
- パレット廃棄費用の負担。
- 場内物流用に自社パレット導入の有無。
- 自社パレットの調達方法(購入、リース など)
- 自社パレットの規格等(木製パレット、プラスチックパレット及び大きさ)別枚数。
- 自社パレット、産地パレット及び所有者が不明なパレットの使用割合
- パレット循環に係る課題

⑥ トラック予約システムの現状と課題

- トラック予約システムの導入の有無。
- 導入している場合はサプライヤー名。
- システムの運用(活用)方法。
- 導入していない場合は理由。
- システムを導入して見える課題

⑦ 場内物流の現状と課題

- 卸売業者から仲卸業者への荷物の運搬は誰が行うのか。
- 仲卸業者等は購入した商品を速やかに引き取っているか。
- 速やかに引き取っていない場合、考えられる要因は何か。
- 場内物流における課題

⑧ 市場の構造の現状と課題

- 動線が非効率になってないか。
- 荷降ろしから卸売場内への運搬がスムーズになっているか。
- 駐車場は確保されているか。
- 卸・仲卸売り場は十分に確保されているか。
- 荷さばきスペースと加工・パッケージ施設の有無
- 卸・仲卸売り場から各施設(低温保管庫、冷蔵庫、パッケージ施設等)の配置が一体的になっているか。
- 市場の構造に係る課題

(イ) その他

① ITの活用による場内物流合理化の現状把握と課題改善方法

- 荷受作業から卸売業務までの作業のうち、どの程度電子化されているか。
- 電子化に向けた課題。
- 課題解決に向けた必要な対策等。

2. 仲卸業者

(ア) パレット・物流関係

① 取扱数量等

- 1日当たりの平均取扱数量
- 繁忙期の1日当たりの取扱数量

- 主な取引先
- 納品する際のパレット及びかご台車等の使用割合
- 納品する際のパレットの調達方法及び割合（例：納品先から配布されるものが〇%、自社（リース等含む）パレットが〇% など）

② 場内のパレットの現状と課題

- 産地パレットを場内で使用しているか。また、顧客への納品の際に使用しているか。
- 顧客へ納品の際に使用しているパレットの回収状況
- 産地パレットを使用している理由。
- パレットの保管場所の有無
- 自社パレット導入の有無
- 自社パレットの調達方法（購入、リース など）
- 自社パレットの規格等（木製パレット、プラスチックパレット及び大きさ）及び規格等別枚数。
- 自社パレット、産地パレット及び所有者が不明なパレットの使用割合
- パレット循環に係る課題

③ 転送物流（物品が市場を経由）の現状と課題

- 主要な転送先。
- 1日当たりの平均転送先件数。
- 1日当たりの平均転送数量。
- 通常期における1車当たりの積載数量割合。（10 t 以上、7 t ～10 t 未満、4 t ～7 t 未満、4 t 未満）
- 繁忙期における1日当たりの転送件数。
- 繁忙期における1日当たりの転送数量。
- 繁忙期における1車当たりの積載数量割合。（10 t 以上、7 t ～10 t 未満、4 t ～7 t 未満、4 t 未満）
- 転送する際のパレット使用割合（木製パレット、プラスチックパレットおよびバラの割合）
- 転送の際に使用するパレットの管理（所有、レンタル）、規格（サイズ、材質）
- 転送先のパレットの管理

(イ) その他

① ITの活用による場内物流合理化の現状把握と課題改善方法

- 仕入作業から販売業務までの作業のうち、どの程度電子化されているか。
- 電子化に向けた課題。
- 課題解決に向けた必要な対策等。

3. 産地（JA）

(ア) パレット・物流関係

① 基本情報

- 仕様書に記載している主要品目（以下、「品目」という。）別年間及び1日当たりの生産数量

- 品目別の選果場または集荷場などの施設数
 - 品目別の主な出荷市場
 - 1日当たりの品目別輸送トラック台数等（○tトラック○台、○○（品目）と混載、○○選果場（集荷場）と混載 など）
- ② パレットの導入実態
- パレットの導入の有無。
 - パレットの種類別保有数量及び割合。（木製パレット、プラスチックパレット、レンタルパレット及び野良パレット別保有数量及び割合）
 - パレットの規格別保有数量及び割合。（上記の種類別に加え、規格（T11型、T12型及びその他規格（上位3つのその他規格）別保有数量及び割合）
 - パレットを導入していない場合は、導入した場合の必要枚数。（種類別及び規格別）
- ③ 品目別のパレット導入率
- 品目別のパレット導入率。
 - 品目別に使用しているパレットの規格。（T11型、T12型 など）
- ④ パレットの使い分けの実態把握
- 品目によりパレットを使用したり、使用しなかったり使い分けしている実態の有無
 - 同一品目でパレットを使用したり、使用しなかったり使い分けしている実態の有無。
 - パレット使用を使い分けしている理由
- ⑤ パレットを導入していない理由、今後の課題
- パレットを導入していない理由
 - パレット導入に向けた課題。
- ⑥ 生産者が集荷場等に荷物を持ち込む際のパレットの使用実態
- 生産者が荷物を持ち込む際にパレットを使用しているか。使用している場合は、パレットを生産者が所有しているのか、またはJAからの配布物か。
 - JAが生産者にパレットを配布している場合の配布方法。（生産者自ら取りに来る、またはJAが生産者宅へ配送 など）
- ⑦ プラスチックパレットに切り替えるにあたっての課題
- ⑧ プラスチックパレットで出荷した場合のパレット回収の実態把握（感覚的な割合が良い）
- 卸売市場におけるパレット管理についての要請内容
 - 卸売市場へ出荷した場合の回収率。
 - 卸売市場を経由せずに実需に荷物を直送した場合の回収率。
- ⑨ 10tトラックへの荷積み時間。
- ばら積み及びパレット積みの作業時間。
- (イ) その他
- ① 卸売市場（東京、大阪）までの輸送手段等の実態把握
- トラック、JRコンテナ、フェリーなど毎の割合。
 - 輸送業者への依頼方法（選果場等单位、JA単位 など）

- ② 選果場等から卸売市場（東京、大阪）までの輸送コスト等の実態把握
 - 卸売市場までの輸送時間。（概ね）
 - 卸売市場までの輸送コスト。（円/kg）
- ③ 出荷先の市場を選定する基準（販売単価、取扱量、輸送条件 など）
- ④ 10年前と比べる出荷先市場の変遷（例：〇〇市場や△△市場など特定の市場に出荷が偏ってきているか など）